

# 令和7年度 丹沢レジデンシャルホーム 地域連携推進会議 報告書

日 時：令和7年7月8日(火)

【会議】 14時～15時00分 場 所：丹沢自律生活センターぼだい 会議室

出席者： 菩提自治会連合会 会 長 A氏  
菩提中西自治会 会 長 B氏  
丹沢レジデンシャルホーム 居住者自治会 副会長 C氏  
丹沢レジデンシャルホーム 居住者家族 D氏  
社会福祉法人常成福社会 理事長 伊藤 崇博  
丹沢レジデンシャルホーム 施設長 千葉 高史 (事務局)

## 1. 地域連携推進会議について (資料1)

事務局より、資料に基づき、地域連携推進会議の位置づけ、開催が必須となった経緯、開催目的、会議とは別に館内を見学していただき、当事業所への理解を深めていただきたいことを説明した。

### 理事長

当法人では、開所以来、秋まつりの実行委員会とセットで、菩提自治会の方々と地域連絡調整会議を毎年開催し、防災相互援助協定を更新し締結してきた。先ほど説明あった、地域連携推進会議の開催が必須となったことから、これまでの地域連絡調整会議を踏襲して本会議を開催することとした。

## 2. 丹沢レジデンシャルホーム事業報告

事務局より、資料に基づき、丹沢レジデンシャルホームの令和6年度の重点目標としての意思決定支援と、意思決定支援の延長線上で、地域生活移行を果たした方の実績についても説明した。また、もう一つの重点目標としての災害対策の強化について説明した。その他、利用者の入退所状況と理由、ミドル入所（一般的な長期間の入所ではなく、目的をもって一時的に期限を設けて入所する）、短期入所の地域での役割（家族の休息時間の確保等）と実績、外出支援の背景と実績、クラブ活動、栄養管理等について説明した。

### 理事長

当施設は、身体障害者の施設としては県内で4番目の施設として、平成2年に開所した。当時は入所希望に応えられるだけの施設数はなかったため、入所された方は宝くじにあたったようだと言っていた。現在は14施設あるが、全国と比較すると数は少ない。開所時の定員は50名であったが、施設入所のニーズが高いため、改築して60名定員とした。その後、時代の流れの中で、次第に在宅サービスが充実し、相対的に施設入所のニーズは減少した。そして、それに応じて丹沢レジデンシャルホームでは入所定員を減らし、今年度から40名にした。一方で、短期入所は在宅生活を継続するうえで大切な資源であることから、1名増やし、5名とした。

<意見交換>

B 氏

60 名から 20 名も減って運営は大丈夫か？

理事長

それだけ収入が減ったので、厳しい。今年度からは、在宅生活での支援をより充実させるために、みなせ拠点を開所した。

B 氏

丹沢レジデンシャルホームでは、男性と女性はどちらが多いのか？

理事長

介護保険施設は、女性が多いが、身体障害者施設は、男性が多いようだ。男性・女性の定員を決めている施設は別だが、当事業所のように性別で定員を決めていない施設では、男性の方が入居を希望する方が多い。女性職員の確保が難しいので、女性居住者が少ないことは、同性介助を行う上で助かっている側面もある。

A 氏

秦野市社会福祉協議会の会議で、赤い羽根募金の配分状況を確認し、丹沢レジデンシャルホームの名前を見つけた。申請しないと配布は受けられないのか？そういった仕組みをどんどん活用した方が良い。

理事長

減収となっていることもあり、積極的に活用するにしている。建物も 35 年たち、補修工事が必要になっている。そのため、補助金の活用は必須となっている。身体障害者施設は、設備機器にお金がかかる。外出支援で使うリフト付き車両、浴室の機械浴など、知的障害者施設と比べると高額になる。

A 氏

菩提買物支援隊に車両を貸し出してもらって感謝している。

理事長

菩提買物支援隊という、地域の買物支援が必要な高齢者、一人暮らしの方を支えるボランティア団体の趣旨に賛同し、車両を貸し出している。毎週木曜日に市内のスーパーへ支援が必要な方々の送迎が行われている。

A 氏

とても良い取り組みなので、更に広報して、より多くの方に利用してもらえると良い。

B 氏

前職では、24 時間テレビの福祉車両を寄贈していただいたことがあった。

理事長

最近ではほぼ毎年エントリーさせていただいている。

A 氏

大雨災害時の裏山の対策は大丈夫か。

理事長

裏山には注意している。定員を減らしたので、裏山に近い一部の居室は利用しないようにしている。

A 氏

異常気象で、大雨災害が心配される。行政には働きかけをしているのか。

B 氏

民地だから難しいだろう。何かの機会に行政に現場を見てもらうのは必要かもしれない。

理事長

昨年の 8 月の菩提が震源地となった地震では、渡り廊下の壁にひびが入り、皆様に大変ご心配いただいた。

A 氏

行政に働きかけていくことには、協力させていただきたい。

### 3. 相互防災援助協定

事務局より、例年通りの内容で案を作成しており、今年度もこの内容で締結して良いか、検討いただいた事を説明した。その結果、特に変更の必要はなく、この内容で今年も締結することとなった。また、今後も毎年内容を相互に確認しあい、更新していく事を申し合わせた。

### 4. その他

#### <意見交換>

C 氏

月に 1 度は施設車両をお借りして、入所している家族と外出している。感謝している。

理事長

施設車両に限らず、介護機器等の一時的な貸し出しもしている。それによって、自宅外泊が叶ったという方もいた。施設利用者家族に限らず、地域の方もその対象だと考えている。祭りで使うテントなどもありえる。

事務局

以前民生委員から、ご親族の相談を受け、自宅を訪問し支援がスタートしたことがあった。支援につながるかどうかは別として、困ったことがあれば気軽にご相談いただきたい。

B 氏

秋まつりは、またやるのか？

理事長

秋まつりはもう開催しない。昔は、自治会から 30 名ほどがお越しいただき、一緒に模擬店をやらせていただいていた時期もあった。しかし、今ではそこまで人を集めるのは難しいと聞いている。職員も同様に、人手不足の中で開催はかなり難しくなっている。

B 氏

防災では、水が大切だが、ここに来れば水をいただけるのだろうか。8/31 に防災訓練を行うが、それに向けて組長会議を開催する。

事務局

居住者と併せて、地域分も余分に備蓄しているので、ある程度の対応は可能と考えている。飲み水と併せて、トイレ対策もしている。福祉避難所にも登録していることもあり、使い捨てトイレを多数準備している。

B 氏

災害時には相談させていただきたい。自治会から丹沢レジデンシャルホームに人の派遣が必要だとなれば、丹沢レジデンシャルホームから A 会長に連額が入るということで良いか。

理事長

その通り。一方で、福祉避難所であるが、この場所が本当に避難所に適していると言えるか、災害の種類によっては難しい側面もある。

A 氏

住民の避難は、大地震は E 小学校、大雨洪水は公民館となっている。しかし、そこまでこれるかはわからない。

A 氏

災害の状況により、何とも言えない。想定して訓練するしかない。居住者の身の安全を守るとして、発災時に職員が参集できるか、できない可能性もあるだろうから、いる職員で何とかするという考え方になるだろう。夜間に 2 名の職員で対応するのは、無理だ。

B 氏

その時には、丹沢レジデンシャルホームから A 氏に連絡して、自治会に助けを求めてもらう必要がある。避難の補助など、できることを手伝う。

A 氏

歩いてこれるし、軽トラで来れるならそうする。手伝うことはまったくやぶさかではない。ここは、イノシシやシカの被害、不審者は来ていないか。

理事長

畑などはないので、直接の被害はない。ただ、職員が退勤時に怖い思いをしたというような話は聞く。これまで不審者の話はない。秋まつりに、食事目当てか、不審な人が出入りすることがあった。おまわりさんには、定期的に巡回で来ていただいている。

D 氏

最近はシカは見ない。

A 氏

何かあれば、菩提の 5 つの自治会で連絡を取り合えばよい。

B 氏

不在者投票はやっているか。

理事長

やっている。

**【見学】 15 時～15 時 40 分 場 所：丹沢レジデンシャルホーム**

出席者：菩提自治会連合会	会 長	A 氏
菩提中西自治会	会 長	B 氏
丹沢レジデンシャルホーム	居住者家族	C 氏
丹沢レジデンシャルホーム	施設長	千葉 高史（事務局）

館内を巡回しながら、サービス提供の考え方や掲示物などを説明した。また、権利擁護の視点から、地域の方が施設の中に入り、現場の様子を直接見ていただくことが重要であり、今後もお願いしたいと考えていることを伝えた。屋外では、裏山を皆さんに確認いただき、改めて、更なる対策を講じるために、自治会としても行政への働きかけに協力いただけることとなった。

以上